



PERFECT SERIES

パーフェクトトゥルーマット

F★★★★★
ホルムアルデヒド放散等級



PERFECT TRUE MATTE

1 液水性ラジカル制御形ハイブリッド高耐候性つや消し塗料

パーフェクトトゥルーマット

上質な
マット感

高い
耐久性

すぐれた
仕上がり性



NIPPON PAINT

ツヨク、
ウツクシク、
スマイヨク。

PERFECT TRUE MATTE

真のつや消し塗料 パーフェクトウルーマット

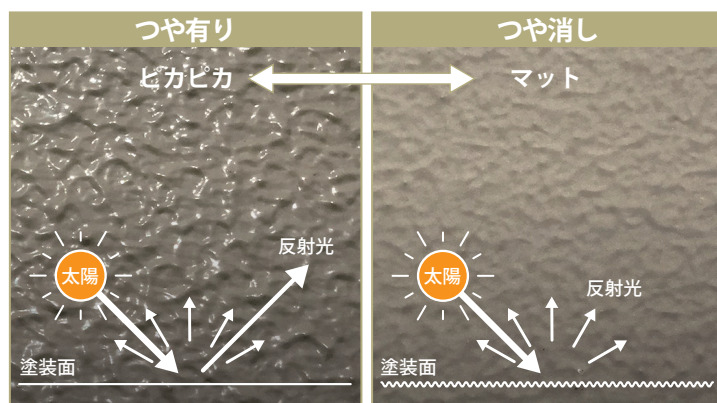
落ち着いたマットな質感で、上品な雰囲気演出。
周囲の環境とも馴染みやすく、
ナチュラルなイメージに仕上がります。つや消し
塗料で不安視されがちな、高耐候性や割れにくさ、
低汚染性についても優れた性能を発揮します。

そもそも「つや」とは？

光を塗膜に当てると、光は様々な方向に反射します。
その中でも正反対方向に反射する光の量が多いとピカピカ
とした「つや有り」、少ないとマットな「つや消し」と呼
ばれる状態になり、見た目の印象が変わります。

つや有りを外壁に塗るとピカピカした塗りたての新しい
印象を受けますが、その一方で経年劣化とともにつやが
失われる傾向があります。

一方つや消しは落ち着いた雰囲気、マットな状態が変
わることなく、上質な印象が長く続きます。



こんな場所にはトゥルーマットがおすすめです

- つや消し外壁の塗り替えに。当社インディアートセラやスタッコ、リシン仕上げなど。
- サイディングボードの塗替えに。例えば南欧風、和風などの戸建て形状にもオススメです。
- その他、マットでナチュラルな仕上がりにしたい場合に。

スタッコ仕上げの例



リシン仕上げの例



南欧風



和風

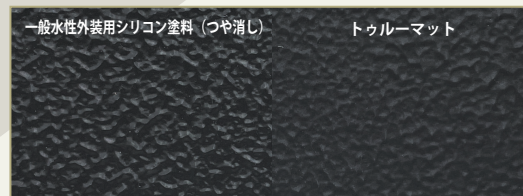


※写真はイメージです。

“6つの特長”で、外壁を美しく守ります

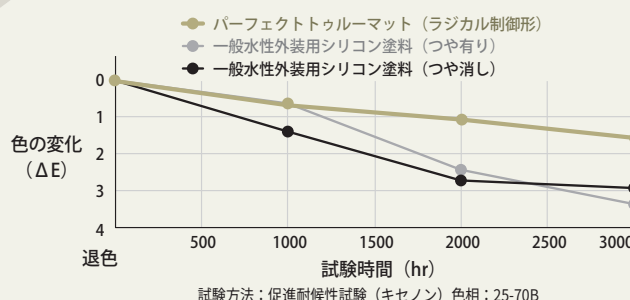
1. 真のつや消し

トゥルーマットはわずかなつやも残らない、“真のつや消し塗料”です。多くのつや消し塗料は、つや有りの塗料をベースに作られるため、どうしてもわずかなつやが残りますが、トゥルーマットはイチからつや消し塗料として開発。緻密な塗膜構造でいわゆる「奥つや」と呼ばれるわずかなつやも残りません。



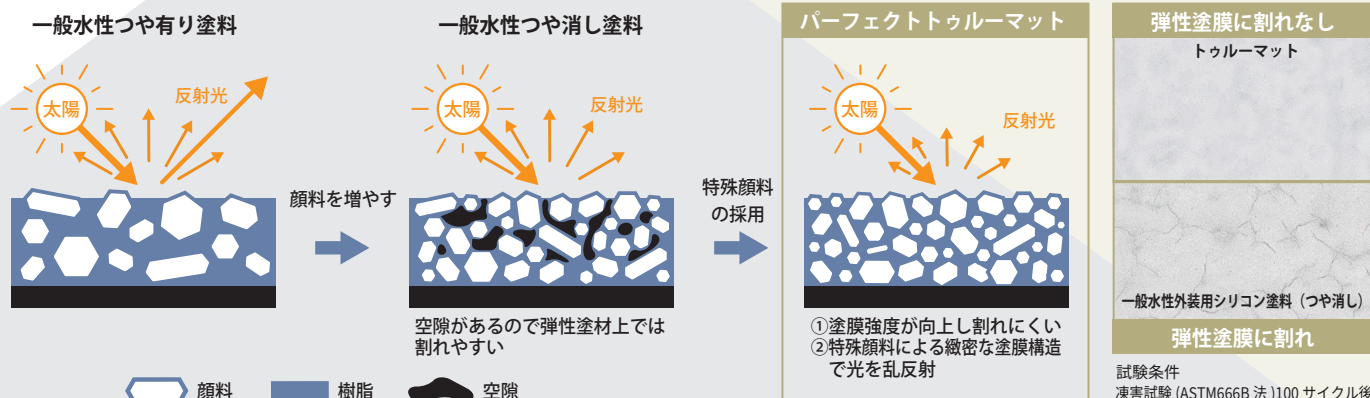
2. すぐれた耐候性

当社が業界に先駆けて開発した「ラジカル制御技術」を採用。紫外線による塗膜劣化を防ぎ、従来のシリコングレードを超える高耐候性を実現します。色の変化が起こりにくく、きれいな外観を長く維持します。



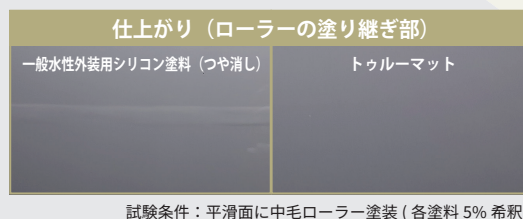
3. 割れにくい

顔料を多く配合していることで、割れやすくなる傾向があるつや消し塗料ですが、トゥルーマットは特殊顔料を採用することで「塗膜強度向上によるヘアクラック抑制」と「緻密な塗膜構造によるすぐれた仕上がり性」を両立しました。そのため弾性系既存塗材への塗り替え塗装も可能です。※弾性仕様の場合には下塗りに DAN フィラーエポをご使用ください。



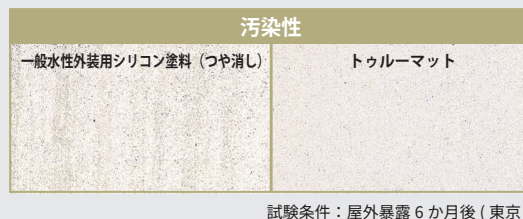
4. むらになりにくい

わずかにつやがある塗膜の場合、ローラー跡が「つやむら」として残ることがありますが、完全なつや消しにすることで吸い込み差による「つやむら」を軽減。仕上がりの良さに繋がります。



5. 汚れが付きにくい

つや消し塗料は表面に細かい凹凸があるため、汚れが付きやすいと思われがちですが、トゥルーマットは汚れが付きにくく、外壁を美しく保ちます。



6. 防藻、防かび

防藻・防かび機能で、藻やかびの発生を抑制し美観を維持します。オプションで強力防かびを選択することも可能です。

適用下地

	適用下塗り塗料	適用下地：塗り替え改修用
外 壁	● パーフェクトサーフ ● パーフェクトフィラー ● 水性パーフェクトシーラー ● ファインパーフェクトシーラー ● アンダーフィラー弾性エクセル ● DAN フィラーエポ/エポS ● DAN フィラーリフレックス ● パーフェクトプライマー	● モルタル面 ● コンクリート面 ● 窯業系サイディングボード ● ALCパネル面 ● 各種旧塗膜の上

※弾性仕様の場合には下塗りにDANフィラーエポをご使用ください。※弾性スタックや弾性リシンは適用できません。

乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

標準塗装仕様(塗り替え)

●モルタル面、コンクリート面の塗り替えなど

仕様	塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
微弾性仕様	下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め急に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。釘頭のさびはサンドペーパー、研磨布などを用いて除去し、さび止め塗料で補修塗りをする。						
	下塗り	ニッパパーフェクトフィラー	1	0.20～0.45	4時間以上	水道水	3～8	ウールローラー
				0.50～0.90			1～5	砂骨ローラー
	上塗り	ニッパパーフェクトトゥルーマット	2	0.13～0.17	3時間以上	水道水	2～5 0～10	タイルガン ウールローラー・はけ・エアレススプレー
弾性仕様	下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め急に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。釘頭のさびはサンドペーパー、研磨布などを用いて除去し、さび止め塗料で補修塗りをする。						
	下塗り1	ニッペDANフィラーエポ	1	0.8～1.30	4時間以上	水道水	0～3	砂骨ローラー
	下塗り2	ニッペDANフィラーエポ	1	0.8～1.30	16時間以上	水道水	0～3	砂骨ローラー
	上塗り	ニッパパーフェクトトゥルーマット	2	0.13～0.17	3時間以上	水道水	0～10	ウールローラー・はけ・エアレススプレー

弾性仕様の場合には下塗りにDANフィラーエポをご使用ください。

●サイディングボード、ALCパネル面の塗り替えなど

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。 下地処理の際は、ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッパパーフェクトサーフ	1	0.20～0.40	3時間以上	水道水	2～5	ウールローラー・はけ
上塗り	ニッパパーフェクトトゥルーマット	2	0.13～0.17	3時間以上	水道水	0～10	ウールローラー・はけ・エアレススプレー

施工上の要点と注意事項

※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。
- つや調整品は、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なること、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
- 素地表面のアルカリ度はpH1.0以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製HI5000シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレシンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレシンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用下さい。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起るおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものと、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリッドオフプライマーを下塗ることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起きることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シーツの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠べい力不足、仕上がり不良などが起るため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠べい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認下さい。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店	☎011-370-3101	近畿支店	☎06-6455-9608
東北支店	☎022-232-6711	中国支店	☎082-281-2180
関東支店	☎03-5479-3614	四国支店	☎0877-56-2346
北関東信越支店	☎03-5479-3614	九州支店	☎092-751-9861
中部支店	☎052-461-1960		

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2025 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-D058
TY250404T
2025年4月現在